



## 国際セミナー開催のご案内 REDDプラス国際技術セミナー － 知見の共有と実践・経験からの議論 －

### ポイント

- ・地球温暖化緩和と途上国の森林保全を進めるための新たな国際的な仕組み「REDDプラス」について、世界各国から関係者が参加する国際技術セミナーを開催します。
- ・今回のセミナーはREDDプラスの技術面に注目して、関係各国・機関の取り組みや成果の報告と今後の課題について意見交換を行い国際議論をリードします。
- ・セミナーの成果は次回のCOP17に反映させ、国内外のREDDプラスの推進に活かします。
- ・このセミナーは国際森林年記念事業の一つとして開催されます。

### 概要

独立行政法人森林総合研究所は、REDDプラス（途上国の森林、減少・劣化による排出量の削減と開発途上国の森林保全、炭素蓄積の増強）における測定・報告・検証可能なシステムの構築に向け、その技術的な側面について様々な立場の関係者との共通理解を醸成するため、2月16日（水）～2月17日（木）、東京国際フォーラム（東京都）において、別紙のとおりREDDプラス国際技術セミナーを開催します。

### 問い合わせ先など

独立行政法人 森林総合研究所 理事長 鈴木 和夫  
研究推進責任者：森林総合研究所 研究コーディネータ 松本 光朗  
研究担当者：森林総合研究所 REDD研究開発センター 後藤 忠男  
広報担当者：森林総合研究所 企画部 研究情報科長 荒木 誠  
TEL：029-829-8130 FAX：029-873-0844

本資料は、林政記者クラブ、農林記者会、農政クラブ、筑波研究学園都市記者会に配付しています。

## 社会的背景とワークショップ開催の経緯

---

世界森林白書（FAO, 2007）によれば、2000年から2005年の間に、世界で毎年日本の面積の約1/3に当たる1,200万haの森林が消失したと報告されています。熱帯地域には、実にその94%が集中しており、この地域の豊かな森林が急速に失われつつあります。IPCC第4次報告書で強調されているように、発展途上国における森林減少・森林劣化からの二酸化炭素の排出は人為起源の排出量全体の約2割を占めており、その抑制が地球規模での温室効果ガス削減に向けた喫緊の課題となっています。それに対する新しい枠組みであるREDDプラスは、COP15のコペンハーゲン合意ではREDDプラスの世界的な枠組みを早急に構築する必要性が強調され、昨年のCOP16では概要について合意に至りました。同時に、対象途上国各国では様々な取組が始まっています。

森林総合研究所はREDDプラスの重要性をふまえ、平成22年7月にREDD研究開発センターを立ち上げ、森林炭素モニタリング手法の開発、国内の技術者研修や国際セミナーの開催等の取組を進めています。本国際技術セミナーは当センター活動の一環として実施するものです。

## 内容・意義

---

（内容）REDDプラス推進のためには、測定・報告・検証可能なシステム（以下、「MRV システム」という）の構築は不可欠です。本セミナーは、COP16での国際交渉の結果、途上国の森林減少・劣化対策と先進国の支援の枠組が決定されたことを踏まえ、MRV システムに関する技術的な側面について、REDDプラスに係る様々な立場の関係者との共通理解を醸成することを目的とします。本セミナーでは、各国関係者及び我が国の官民におけるREDDプラス取り組み事例、およびMRV システムに係わる手法等について報告するとともに、REDDプラスの対象国となる発展途上国の関係者、国際機関、民間企業、環境NGO、有識者による報告およびパネルディスカッションを行います。REDDプラスの専門家だけでなく、広く温暖化、熱帯林に関心を持つ方の参加を期待しています。

（意義）REDDプラスについては、発展途上国での新規植林や再造林などの活動に加えて、その取り組みによって排出削減量・吸収量や、発展途上国の森林の保全や持続的管理、地域住民の生活向上、地域経済への貢献も期待されます。セミナーを通して、REDDプラス推進に不可欠なMRV システムについて、様々な立場の関係者との共通理解を醸成します。

=====

REDDプラス国際技術セミナー  
-知見の共有と実践・経験からの議論-

=====

主催：(独) 森林総合研究所 (FFPRI)  
後援：林野庁  
日時：2011年2月16日 (水) 9:30-18:00  
2月17日 (木) 10:00-17:00  
会場：東京国際フォーラム ホールD7  
地図・アクセス：<http://www.t-i-forum.co.jp/function/map/index.html>  
言語：日本語・英語の同時通訳を用意しています。  
日本人による発表は日本語で行います。  
参加登録：事前登録をお願いします。<https://www3.convention.co.jp/redd2011/jp/> にて登録の案内を行っております。  
参加費：無料

**【プログラム】**

第一日目 (9:30-18:00)

9:30-10:15 開会・イントロダクション  
10:15-12:00 セッション1 国際機関による取り組みの紹介  
13:00-14:40 セッション2 各国における取り組み状況1 (東南アジア地域)・政府関係者等による各国取り組みの報告  
14:55-16:55 セッション3 各国における取り組み状況2 (南米地域、アフリカ地域、太平洋地域)・政府関係者等による各国取り組みの報告  
16:55-17:55 パネルディスカッション

第二日目 (10:00-17:00)

10:00-12:20 セッション4 民間における取り組み  
13:30-15:10 セッション5 REDD プラスのMRV に係る、研究開発状況・国内外の大学・研究機関等による取り組み成果と課題の報告  
15:30-16:40 パネルディスカッション  
16:40 閉会

**【お問い合わせ先】**

独立行政法人森林総合研究所・REDD研究開発センター  
担当者：後藤忠男、山田文雄  
TEL：029-829-8326 (後藤)、029-829-8148 (山田)、029-829-8365 (同センター)  
FAX：029-874-3720、e-mail: [red-d-center@ffpri.affrc.go.jp](mailto:red-d-center@ffpri.affrc.go.jp)

# REDD プラス 国際技術 セミナー



Forestry and Forest Products  
Research Institute



2011・国際森林年  
2011年は国際森林年です

- 知見の共有と実践・経験からの議論 -

## 2011/2/16(水)-17(木)

会場：東京国際フォーラム ホール D7

主催：独立行政法人森林総合研究所

REDD プラス（途上国の森林・減少・劣化による排出量の削減）推進のためには、測定・報告・検証可能なシステム（MRV システム）の構築は不可欠です。本セミナーは、COP16 での国際交渉の結果を踏まえ、MRV システムに関する技術的な側面について、REDD プラスに係る様々な立場の関係者との共通理解を醸成することを目的とします。本セミナーでは、各国関係者及び我が国の官民における REDD プラス取り組み事例、および MRV システムに係わる手法等について報告するとともに、REDD プラスの対象国となる発展途上国の関係者、国際機関、民間企業、環境 NGO、有識者による報告およびパネルディスカッションを行います。



プログラム（※暫定：発表国・機関については現在調整中であり、今後変更の可能性があります）  
（※使用言語：日・英（同時通訳つき））

第一日目 (9:30-18:00)	
9:30-10:15	開会・イントロダクション
セッション 1 10:15-12:00	国際機関による取り組みの紹介
セッション 2 13:00-14:40	各国における取り組み状況 1（東南アジア地域） ・政府関係者等による各国取り組みの報告（インドネシア、ベトナム、ラオス、カンボジア、マレーシア等）
セッション 3 14:55-16:55	各国における取り組み状況 2（南米地域、アフリカ地域、太平洋地域） ・政府関係者等による各国取り組みの報告（ブラジル、メキシコ、パラグアイ、パプアニューギニア、コンゴ等）
16:55-17:55	パネルディスカッション

第二日目 (10:00-17:00)	
セッション 4 10:00-12:20	民間における取り組み
セッション 5 13:30-15:10	REDD プラスの MRV に係る、研究開発状況 ・国内外の大学・研究機関等による取り組み成果と課題の報告
15:30-16:40	パネルディスカッション

### 参加登録・その他

事前登録制：<https://www3.convention.co.jp/redd2011/jp/>にて登録の案内を行っております。

※セミナーへの参加費は無料です。

※第一日目の終わりに懇親会（18:00-20:00）が開かれますので、皆様ご参加下さい（有料）。

問い合わせ先 独立行政法人森林総合研究所 REDD 研究開発センター Email: [red-d-center@ffpri.affrc.go.jp](mailto:red-d-center@ffpri.affrc.go.jp)  
<http://www.affrc.go.jp/redd-rdc/>

